

## 講座 A | 8月18日(木) 18:30~21:00

講師 / 関 鎮京 (ミン・ジンキョン 민진경)

韓国ソウル生まれ。韓国国立オペラ団で演出助手とオペラ制作に携わり、文化庁海外招聘研修生として2000年来日。東京藝術大学大学院応用音楽学専攻修了(学術博士)。2006年より北海道教育大学に在職。専門は文化政策。文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う諸外国の文化政策の構造変化に関する研究(韓国担当)」(2021年度)等。公益財団法人北海道文化財団「令和2年度アート選奨」受賞。

### 「韓国の文化政策と芸術(演劇)教育について」

2004年から韓国政府が全国的に始めた「文化芸術教育」の推進により、芸術教育分野の環境が急激に変化しています。その代表的な政策としては、全国の学校(8,620校)にアーティスト(5,065名)を派遣する「芸術講師」事業があります。芸術(演劇)教育政策の全体像および考え方、そして特色ある取り組みをご紹介します。

## 講座 B | 8月19日(金) 18:30~21:00

講師 / 劉 恩禎 (ユ・ウンジョン 유은정)

大学にて演劇演技を専攻。2015年、文化芸術教育士からはじまり、児童青少年を対象とした演劇分野の芸術教育家、ティーチング・アーティスト(TA)として活動している。ソウル教育大学教育専門大学院では教育演劇を専攻し、ドラマと青少年の自己アイデンティティの形成に関する研究を進めた。演劇を通じた芸術と教育の越境、そして私たち全員のアイデンティティについて模索している。

### 「韓国のファシリテーター育成プログラムについて」

韓国では、ティーチング・アーティスト(TA)が派遣講師として、どのように採用されるのか。また、採用される前/採用された後も、適切なトレーニングの準備がなされているのか。育成プログラムなどが確立しているのか。韓国にて育成プログラムに携わるティーチング・アーティスト(TA)に韓国での実例をご紹介します。

## 講座 C | 8月20日(土) 14:00~16:30

講師 / 安 鏞世 (アン・ヨンセ 안용세)

ティーチング・アーティスト(TA)。教育研究者。ソウルをベースとしたTouchable Storyシリーズのプログラムディレクター。ソウル芸術大学で演劇を学び、ソウル教育大学校では、ドラマ教育、観客参加型演劇(フォーラムシアター、T.I.E、アブライドシアター等)、定性的研究の方法論に関する専門教育を受ける。現在は地域と社会の垣根を越えて芸術教育実践家としての活動を広げている。韓国芸術文化教育振興院(Korea Arts & Culture Education Service(KACES))では国際研究プロジェクトを行った。

### 「韓国の芸術(演劇)教育における多文化共生プログラムについて」

韓国は、1990年以降、外国人の受け入れに対して開放的・積極的な移民政策へと基本方針を変えました。また、国内外国人に対しても社会統合政策の一環として「多文化政策」が展開されるなど、政策的な大転換を図っています。そこで、多文化共生に向けて、韓国の芸術(演劇)教育が、どのようなプログラムを思案して具体的な実践を行っているのか。多文化共生プロジェクトの実践を行なうティーチング・アーティスト(TA)に韓国での実例をご紹介します。

お申し込み  
お問い合わせ

チケットシステム  
【Peatix】から  
お申し込みください。  
<https://jdaiad-korea2022.peatix.com>



左記のシステムが利用できない方は、件名「韓国特集2022」を記載。本文に、①お名前(氏名・ふりがな)②連絡先(電話番号・メールアドレス)を明記の上、メールにてご応募ください。後ほど詳細をご連絡いたします。

[jda.iad.info1@gmail.com](mailto:jda.iad.info1@gmail.com) ☎080-3124-7210 (担当: 柏木)

申込×切 ■ チケットシステム【Peatix】ではレクチャー各回の前日まで ■ メールでのお申し込みは、8月14日(日)まで

## 国際演劇交流セミナーとは？

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と、演劇交流をかさねてきました。1999年からは文化庁による本格助成のもと、「国際演劇交流セミナー」を連年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を連続的に開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、および劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施いたします。

2022年度セミナー  
オーストラリア特集 9/16~18

「自らの声で語り始めた難民、  
国家の神話を語り直す先住民」  
S.Shakthidharan (S・シャクティダラン)